

6.1.1 市民

市民は、気候変動に関する理解を深め、日常生活における温室効果ガスの排出を抑制するために、自らの温室効果ガス排出量・エネルギー消費量を把握し、排出を抑制するとともに、環境負荷が低い商品・エネルギー・サービス等を選択し、脱炭素化に向けたライフスタイルへ転換する等に努めることが期待されます。また、本市では多くの自治会・町内会やNPO等の市民団体の皆様にご活躍いただいているため、市民は地球温暖化対策に関する活動へ参加するとともに、各種団体が各主体と連携しながら、地球温暖化対策に関する取組を行うこと等が期待されます。

適応の観点では、市民は行政等が提供する防災情報や熱中症・感染症等の情報を収集・活用し、自らの生命・財産を守るための「自助」の行動につなげるとともに、地域のつながりを生かした「共助」の取組を進めること等が期待されます。

表 6.1-1 本計画における市民の取組

場面	内容
日常生活	温室効果ガス排出抑制
	資源の無駄利用を減らし、電気の消し忘れ等がないよう心がけます。
	環境負荷の低い商品・エネルギー・サービスの選択
	太陽光発電システム、蓄電池、家庭用燃料電池（エネファーム）、再生可能エネルギーを含む低炭素電力、高効率な家電、次世代自動車等の利用をします。
	住宅の高気密・高断熱化や緑化等の環境配慮に努めます。
意識	脱炭素化に向けたライフスタイルの転換
	身の回りでできる省エネ、公共交通や自転車の利用、ゴミの減量等に取り組めます。
	環境や人、社会に配慮した商品・サービスの積極的な選択をし、市民一人ひとりが環境問題や社会課題の解決に貢献します。
取組	地球温暖化対策に関する活動等への積極参加
	地球温暖化対策に関わるイベントや講座へ参加し、地球温暖化対策について学びます。
	地域の環境活動等へ参加し、地球温暖化対策のために行動します。
対策	適応策としての自助・共助の取組を行う
	災害時の避難方法の把握や備蓄の確保をします。
	熱中症予防や感染症予防等、身の回りでできる対策を行います。